

区分	チェック項目	事業所評価	保護者評価			評価を踏まえた改善・対策		
			はい	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	安全面を考慮し、活動内容やその日の過ごし方によってお部屋の環境を整えるようにしています。	はい どちらでもない	10人 4人	いいえ わからない	2人	活動内容に合わせた配慮だけではなく、子どもの人数やコンディションにも応じたお部屋作りを行っています。安全にのびのびと過ごせる空間を作りたいと思います。
	2	職員の適切な配置	子ども達の安全を第一に、十分な支援が行えるよう社員、パート社員の配置を行っております。	はい どちらでもない	20人 1人	いいえ わからない	3人	引き続き、子どもの人数に合わせて適切な人数配置が行えるよう調整していきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	日頃から子ども達にとって危険なものはないか確認を行うようにしています。「もしも」の事を考えて、危ない部分を見つけた時にはすぐに対応するようにしています。	はい どちらでもない	18人 4人	いいえ わからない	2人	子ども達が快適に過ごすことができるよう、安全面には十分気を付けていきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	登園前、登園後には、玩具やお部屋の掃除・消毒を徹底して行っております。	はい どちらでもない	23人 1人	いいえ わからない	1人	感染症予防のため、掃除・消毒は徹底して続けて参ります。玩具や絵本に関しても、定期的に新しいものを取り入れ、お子様達が飽きのこないようにしていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	明確な目標設定は行っておらず、日々気になってことはその都度、職員間で振り返り、改善点など話し合う場を設けるようにしています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			振り返りや改善点等は、話し合いだけではなく、こまめに記録しておき、職員が常に振り返りながら業務へ活かすことができるようにしていきたいと思っています。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	業務改善については必要な点が多々あると感じています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			職員間の話だけで終わらず、改善へ向けて行動ができるように努めたいと思います。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修への参加は殆どできておりません。子どもの支援や専門的な内容に関しての勉強会は取り入れるようにしています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			事業所内での勉強会だけではなく、専門的な外部研修に参加する機会を設け、職員の資質向上を目指し、充実した支援を提供できるようにしていきたいと思っています。
適切な支援提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的に保護者様とお話する場を設け、個別支援計画書、モニタリング報告書の作成を行っております。コロナ禍も少しずつ緩和しているため、園での面談も実施しています。	はい どちらでもない	23人 1人	いいえ わからない		モニタリング時期だけではなく、お子様それぞれの様子や課題の変更について、こまめに保護者様とお話できる機会を増やしていきたいよう努めて参ります。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々に合わせた内容で集団と個別の目標をそれぞれ取り入れています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			今後も保護者様にわかりやすく、ご家庭でも取り組みやすい内容も取り入れながら丁寧な支援計画書の作成を行ってきたいと思っています。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者様の願いも含めながら一人ひとりに合わせた目標を設定し、スモールステップで目標達成を目指すように計画・作成しております。	はい どちらでもない	22人 2人	いいえ わからない		
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書は常に職員が確認できるようにしております。支援方法については職員間で周知し、適切な対応ができるよう努力しています。	はい どちらでもない	23人 1人	いいえ わからない		
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	メインの療育【制作、絵画、運動、音楽、季節行事等】を1ヶ月分ごと、活動のねらいも合わせて計画しております。	はい どちらでもない	いいえ わからない			一つの活動の中でも、それぞれのお子様に合わせて活動参加が提供できるようしっかりと計画を練っていきたく思います。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇はありませんが、季節に応じた行事や、クッキング、遠足など定期的に取り入れるようにしています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			コロナ禍も少しずつ緩和してきているため、保護者様を含めたイベントも徐々に増やしていきたいと思っています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	運動遊びや音楽遊びに関しては、同じ活動内容でも取り組み方を少しずつステップアップしていくようにしています。	はい どちらでもない	24人 1人	いいえ わからない		子ども達が活動に興味関心をもって取り組めるよう、取り組み方、内容の設定を工夫していきたいと思っています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	活動や食事、個別学習、外出時等、それぞれの活動で担当の配置や役割分担を決め、週リーダーが全員に伝えることで確認を行うようにしています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			引き続き、活動内容や分担については、全員が把握した状態で支援に入り、しっかりと連携を取りながら支援に努めていくようにします。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	保護者様からの連絡は、朝の時点で情報共有ボードに記載し、全社員が把握できるようにしています。また、降園後にはその日の振り返りや気になる点を話し合い、常に情報共有、改善を行っています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			気になった点はすぐに報告・相談、改善を行うようにします。また、パート社員からも気になる点は常に報告してもらい、全員で話し合う場を設けたいと思っています。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳だけでなく、一人ひとりの活動、学習の様子等はこまかく記録に残すようにしています。またその他気になる点があった際も記入を行い、管理者確認後に保護者様へ公開しています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			今後も活動面だけでなく、学習や自由時間、その他気になる点等、いつ誰が見返しても理解できるよう、わかりやすく丁寧な記録を心がけていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年毎にモニタリングを実施し、園での様子を報告しています。ご家庭や他事業所等での様子も伺い、支援計画・目標の見直しを行っています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			モニタリングは、できるだけ園での面談、お電話等で行うようにし、ゆっくりとお話する時間を作っていきます。モニタリング時期だけでなく、保護者様が気軽に話せる場面も設けていきたいと考えております。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	相談支援事業所の方とは定期的に連絡を取り合い、必要に応じてケース会議等にも参加させていただいております。	はい どちらでもない	いいえ わからない			今後も相談支援事業所の方とは密に連携を取り合い、保護者様や子ども達へのプランのサポートを一緒にさせていただきたいと思っています。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		はい どちらでもない	いいえ わからない			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		はい どちらでもない	いいえ わからない			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	他事業所への移行や就学の際には、引き継ぎ書を作成し、子ども一人ひとりの園での様子や支援の仕方などわかりやすくお伝えするようにしています。	はい どちらでもない	いいえ わからない			他事業所や就学だけでなく、保護者様や保育園幼稚園等からご要望があれば、お互いの園での様子についての情報交換や、支援方法の共有を通して支援の統一を図っていきたく思います。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、		はい どちらでもない	いいえ わからない			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修受講はできておりません。	はい どちらでもない	いいえ わからない			今後は積極的に専門機関との連携を増やし、オンライン研修等も取り入れていけるよう努力して参ります。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の保育園等との交流は行っていません。放課後等デイサービスとは以前交流する場を設けておりましたが、近年は控えています。	はい どちらでもない	5人 3人	いいえ わからない	3人 13人	放課後等デイサービスのお子様に来所される前の時間帯にお部屋に行って、まずは放課後等デイサービス職員と関わる時間を取ったり、普段とは違ったお部屋や玩具で遊ぶ時間を取り入れていきたいと思っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	上記同様、地域の方々との交流の場は設けていません。	はい どちらでもない	いいえ わからない			

保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者様に尋ねられた時には分かりやすく担当から説明を行うようになっています。	はい どちらでもない	23人 1人	いいえ わからない		
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリング時に、次の目標設定やそこに向けてどう支援を行っているのか等、保護者様の意見を含めながら説明をさせていただきます。	はい どちらでもない	23人 1人	いいえ わからない		個別支援計画書作成後に、こまかく説明を行っていない部分もあるため、今後は丁寧な説明を心がけていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングの実施は行えておりませんが、保護者様のご相談には常に対応させていただきます。	はい どちらでもない	6人 11人	いいえ わからない	7人	引き続き、保護者様のご相談には十分寄り添いながら、ペアレントトレーニングの検討も進めていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎の場所やコロナ禍ということから、降園時の対応はできるだけ手短に行わせていただいております。必要な連絡事項は、お電話やサービス提供記録、連絡帳にてわかりやすくお伝えしております。	はい どちらでもない	21人 3人	いいえ わからない		今後も降園時は手短な対応となってしまう場合もございますが、できるだけ園での様子を伝えていきます。こまかい内容に関しては、サービス提供記録や個別対応にてお伝えするようになっています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		はい どちらでもない	17人 3人	いいえ わからない	2人 2人	年2回の面談はあります。先生から一方的な助言は無く、こちらから聞くとききちんと答えてくれます。その時に親子への否定姿勢は一切無く、全て受け止めてくれて答えてくれるので親としても先生に相談しやすいですし、子がとても表情豊かになり、苦手の克服や発達が出来てるのが結果かなと思います。「先生素敵」とほんとに思います。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者様を含めたイベントは行いましたが、保護者会は行えておりません。	はい どちらでもない	3人 6人	いいえ わからない	11人 4人	保護者会はありませんが、その点が逆に良いです。親子通園型療育は他の保護者との付き合いで悩み、せっかく子の発達のために行っているのになんだかなあ…と思うので。おもちゃ箱は送迎スポットで同じ保護者と仲良くさせて頂いていたり、園での親子イベントで会った保護者と団欒するのが苦痛に感じないのは園での活動様子を先生方が保護者へ連携してくれており、話題があるから話しやすく接しやすいんだと思います。 -保護者会等の必要性は特に感じていません。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理者がすぐに確認した上で、保護者様へ直接ご連絡・対応をさせていただきます。	はい どちらでもない	17人 7人	いいえ わからない		
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子様には常にわかりやすく丁寧な言葉掛け、視覚支援を取り入れながら支援を行うようになっています。	はい どちらでもない	24人 わからない	いいえ わからない		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月子ども達の作った壁面やお知らせ等を記載した「おたより」と、イラスト入りの「活動カレンダー表」をセットにして月初めに配布しています。	はい どちらでもない	22人 1人	いいえ わからない	1人	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	書類など、個人情報の取り扱いに関しては、しっかりと区別し保管しております。	はい どちらでもない	22人 わからない	いいえ わからない	2人	
非常時の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	項目ごとのマニュアルファイルを作成し、いつでも確認できるように保管しております。	はい どちらでもない	18人 3人	いいえ わからない	3人	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難訓練、救出その他必要な訓練の実施	年に2～3回は、職員と子ども達で災害時を想定した避難訓練(地震・火災・不審者対応)を実施しています。	はい どちらでもない	16人 2人	いいえ わからない	6人	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修は園内で行っております。	はい どちらでもない	わからない わからない	いいえ わからない		頻繁に研修機会を設け、虐待防止への意識、適切な対応力を高めていきたいと思います。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行うことはありません。契約時にも必ず保護者様へお話をしています。	はい どちらでもない	わからない わからない	いいえ わからない		必要な場面がある際には、事前に説明し、了承を得なければならぬことを改めて職員全員で周知しておきます。また、そういう場合があることも契約時に説明させていただきたいと思っています。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時には必ずアレルギーの有無についてお話を伺っています。アレルギー有りの場合には、医師からの指示書をもとに、職員全員で把握できるようにしています。	はい どちらでもない	わからない わからない	いいえ わからない		今後も昼食やおやつ作り等の活動計画を行う際は、食物アレルギーのあるお子様がいないか事前連絡し、どのように対応するか等、必ず全員が把握した上で行うようになっています。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例だけでなく、事故報告書(発熱、嘔吐、けが等)も項目別に作成し、閲覧することで共有を行うようになっています。	はい どちらでもない	わからない わからない	いいえ わからない		ヒヤリハットや事故報告書で起きたことを繰り返さないよう、定期的に閲覧したり、振り返りを行ったりしながら安全に過ごせる環境作りにも努めて参ります。
満足度	7	子どもは通所を楽しみにしているか？	4時間の中で子ども達が十分に満足し、笑顔で降園することができるよう、時間設定を考慮しながらスケジュールを組んでいます。また、保護者様と離れている時間も、職員を信頼して安心して過ごしてもらえよう、常に明るく笑顔で丁寧に対応するように努力しています。	はい どちらでもない	21人 2人	いいえ わからない	1人	今後も、子ども達が「おもちゃ箱楽しい！先生・お友達だいすき！」と思ってもらえるような環境作り、活動計画に力を入れ、全力で子ども達と向かい合いたいと思います。保護者様からの信頼も得られるよう丁寧に対応させていただきます。
	8	事業所支援に満足しているか？	子ども一人ひとりに合わせた支援の提供や、活動参加方法を職員間で確認しながら取り組んでいます。必要に応じては、保護者様にもお話を伺うようにし、子どもにとって無理のない支援を心がけています。	はい どちらでもない	23人 1人	いいえ わからない		今後も子ども達に合わせた支援を提供し、何事も楽しく成長に繋がるようなサポートを行います。保護者様にも満足していただけるような活動計画、個別支援を目指していきたいと思います。